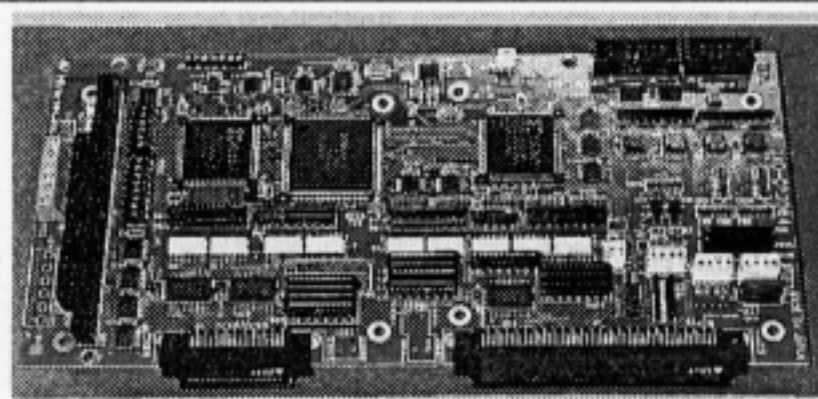


百枚分の情報を携帯電話—置を首都圏を中心にエ—コンビニに参加を呼びか—電力、ガス会社などは—

3.5インチCPUも搭載

ハイパーテックがボード

の機械的な制御



モーター制御ボードメーカーのハイパーテック（東京、斎藤収社長、03・3846・3801）は工作機械などのモーター制御用として使う新しい組み込みボードを開発した。実装面積は現在主流のボードの約二倍。来年一月に発売する。

約十センチ×約二十一・五センチ。既存の「PC104」を上重ねて使えるほか、これまで「PC104」に重ねられなかった三・五センチCPU（中央演算処理装置）ボードも乗せられる。

コネクター類はすべてボードの一方方向に集めてあるので配線もしやすいという。価格は六万七千—七万七千円を予定。ロボットや半導体製造装置、医療機械など幅広い販路を開拓する。初年度千万円、次年度四千万円の売上高を見込む。

装置の高性能・高機能化に伴い、組み込むボードは増える傾向にあるが、「PC104」はボードを重ね過ぎると特性が落ちる課題があり、現状では四—五枚が限界とされていた。

中小支援機関と連携

大工室 職員が技術移転橋渡し

【札幌】室蘭工業大学（北海道室蘭市）は中小企業支援を手がける第三セクターの室蘭テクノセンター（同市）と連携を強化する。来年度をメドに同センターの職員を大学の専用スペースに配置する予定。

し、地元企業への技術移転を促進する。室蘭工大とテクノセンターは来年初めにも連携強化について正式に調印する予定。

詳細は今後詰めるが、専用スペースに配置する常勤者を育